

競技注意事項

1 本大会は、2024年度（財）日本陸上競技連盟競技規則に準じ、全国小学生交流大会開催要項ならびに同競技方法に則るが、児童であることを考慮し教育的配慮のもとに競技を進行する。

2 ウォーミングアップについて

- (1) ウォーミングアップは、「補助陸上競技場」で行う。ジャベリックボール投げについては、「第二多目的広場」でのみ行う。
- (2) メイン競技場でのアップは行わない。

3 招集方法について

- (1) 招集所は、第1ゲート出入口付近（外側）に設ける。
- (2) 招集時刻は下記の通りとする。

		招集開始時刻	招集完了時刻
トラック	1～3組	競技開始時刻の40分前	競技開始時刻の20分前
	4～6組	競技開始時刻の30分前	競技開始時刻の10分前
	7～9組	競技開始時刻の20分前	競技開始時刻
フィールド	全種目	競技開始時刻の45分前	競技開始時刻の30分前

(3) 招集の方法

- ① 競技者は、招集完了時刻10分前まで、招集所内の席で待機し、点呼を受けること。その際、競技者は腰ナンバーカードを右腰に貼り、係員にユニフォームおよびアスリートビブスの確認を受け、合わせてピンの長さ及びシャツ・パンツ等の商標の点検を受ける。
- ② リレー競技に出場するチームは、監督者会議終了後9：00までに所定のオーダー用紙を招集所に提出する。決勝においてもオーダーの変更の有無にかかわらず提出する。決勝のオーダー用紙提出は13：45とする。（リレーオーダー用紙は出場チームに受付の際に配付する。）
※ 友好100mのエントリーは、予選のリレーオーダー用紙に「友好」か「キケン」のいずれかを記載する。（空欄のままにはしない）なお、棄権者が出たことによる友好100mの番組編成は変更せず空きレーンとする。
- ③ 招集完了時刻に遅れた競技者（チーム）は、当該種目を棄権したものとみなし処理するので、十分に注意する。
- ④ 棄権する選手が生じた場合は、当該種目の招集開始時刻まで、招集所に「棄権届」を提出する。（棄権届は出場チームに受付の際に配付する。）

4 アスリートビブスについて

アスリートビブスは、支給されたアスリートビブスを胸・背に正しく付ける。

5 競技場の使用について

(1) トラック競技出場者の入退場

- ① 競技場へは、招集所から係員の誘導により入場する。
- ② トラック競技は、フィニッシュライン到達後、第1ゲート（第1コーナー）から退場する。ただし、4×100mRの第1・第4走者は第1ゲート（第1コーナー）から、第2・第3走者は第4ゲート（第4コーナー）からそれぞれ退場する。

(2) フィールド競技者の入退場

- ① 競技場へは、招集所から係員の誘導により入場する。
- ② 競技が終了した競技者は、競技役員の指示により最寄りのゲートから退場する。

6 番組編成について（走路順・試技順）

- (1) 予選におけるトラック競技の走路順、跳躍競技の試技順は、プログラム記載の左側の番号で示す。
- (2) 決勝レーンは、主催者において決定する。走路順は、プログラム記載の速報サイトにて知らせる。
- (3) タイムにより、決勝に進む競技者の決定について
最下位で同タイムの者が出た場合は、写真判定の拡大写真により判定するが、それでもなお判定できない場合は、監督同伴の上、選手の抽選により行う。

7 競技について

(1) トラック競技

- ① スタートの合図はイングリッシュ・コマンドとする。
- ② スタートはクラウチングスタートを原則とする。スターティングブロックは使用しなくても良い。同じ競技者が2回の不正スタートをした時、その競技者を失格とし、オープン参加として走らせる。
- ③ 予選は、タイムレースで行い、上位タイム者8名を決定し、決勝を行う。
- ④ リレー競走におけるテイク・オーバー・ゾーンは基準点から手前20m後ろ10mの合計30mとする。テイク・オーバー・ゾーン外から走り出してはならず、ゾーンの中でスタートしなければならない。
- ⑤ フィニッシュラインは通過後も、自分のレーン（曲走路）にそって走ること。（危険防止のため）
- ⑥ リレーに出場する走者は、男女各2名から編成され、走順は自由とする。選手のユニフォームは、原則として全選手とも同一デザインとする。ユニフォームパンツの下に着用するタイツなどは、全選手が着用しない場合はそれを認められない。ただし、男女による型の違いは認めるものとする。
- ⑦ リレーの第2・3・4走者は、自分たちで準備したマーカーをそれぞれ1カ所だけ使用することができる。ただし、各チームはそのマークを責任を持って撤去する。

(2) フィールド競技

- ① 競技者は、助走路の外側（走高跳は助走路内）に主催者が用意したマーカーを2個まで置くことができる。
- ② 競技場内での公式練習は2回とし、すべて競技役員の指示に従う。
- ③ 競技に出場している競技者以外は、競技場内（トラック・フィールド）に立ち入ることを禁止する。
- ④ 助言については、フィールド競技が行われる近接のスタンドに「コーチングエリア」を設ける。ただし、「コーチングエリア」に入ることができるのは、監督IDをもった指導者のみとする。助言は、競技運営ならびに他の競技者の競技の妨げにならない範囲で「コーチングエリア」に限って認める。ただし、映像等を競技者本人が操作して見ることは禁止とする。

8 走高跳の試技について

- (1) 走高跳のバーのあげ方は下記の通りとする。変更がある場合は監督会議で連絡する。
 - ・ 練習…女子90cm、男子95cm
 - ・ 試技…自己申告した高さ（女子95cm・男子100cm）から開始し、5cm刻みでバーをあげ、女子は110cm、男子は120cmから3cm刻みとする。
- (2) 自分で申告した高さから試技を開始し、同じ高さを2回失敗した時点で終了とする。
- (3) 走高跳単独種目（東日本大会選考）のみ、同記録、同試技数の選手がいた場合のみ、ジャンプオフ（追加試技）を行う。

9 ジャベリックボール投げについて

- (1) ジャベリックボールを使用する。連続による2連投のうち最高記録のみを計測し、順位を決定する。
- (2) 助走はやり投げ用ピットを使用し、2回連続で試技を行う。助走距離は15m以内とする。
- (3) 試技の際には、ボール本体を持ち、オーバーハンドスローで投げることにする。（羽を持って投げることは禁止）

1 0 コンバインド競技について

(1) コンバインド競技は、次の順序で実施する。

- 男子コンバインドA : 走高跳 → 80mH
- 女子コンバインドA : 80mH → 走高跳
- 男子コンバインドB : 走幅跳 → ジャベリックボール投げ
- 女子コンバインドB : ジャベリックボール投げ → 走幅跳

(2) 各種目の得点は「JAAF 小学生混成競技得点表(2022)」による。

- ① 80mH、走幅跳における風速は、得点及び順位には影響しない。
- ② 100点以下の記録は、全て100点とする。
- ③ スタートまたは試技を行い、参考記録(80mHにおけるオープン参加時の記録)や記録なし、失格の場合は、50点(参加点)とする。
- ④ 最初の種目で棄権した競技者は、2種目目には出場できない。
- ⑤ 2種目の合計得点で順位を決定する。合計得点と同点の場合は、同順位とするが、全国大会出場にかかわる1~3位の順位決定に際しては、監督同伴の上、選手の抽選により行う。

1 1 シューズ、スパイクについて

(1) 競技に際しては、競技に適したシューズまたはスパイクシューズを使用する。

- ・ 危険防止のため、素足での競技は禁止する。

(2) スパイクシューズは、競技規則に適合したものであること。

- ・ スパイクのピンの長さは9mm以内、ただし、走高跳は12mm以内とする。なお、スパイクピンの直径は、先端が4mmで、数は、11本以内とする。

(3) 県大会に出場する選手全員が日本陸連に登録しているが、陸上競技用靴規定の運用を行わない。

1 2 表彰について

(1) 日清カップ種目(100m、男女混合リレー、コンバインドA・B)は各種目6位まで、東日本大会選考会種目(80mH、1500m、走高跳、走幅跳、ジャベリックボール投げ)は各種目3位までの入賞者には賞状を授与する。(友好100mは除く)また、日清カップ種目の1位~3位までは、メダルを授与する。

(2) 各種目1位~3位までの入賞者の表彰は競技が終了し、結果発表後すぐに行う。その際、ユニフォームの着用はせず、Tシャツ・半ズボン等の服装で室内走路入賞者席まで集合すること。また、表彰の際は保護者および監督は正面玄関の外、またはスタンドで待機すること。室内走路での待機は認めない。

1 3 一般注意事項

- (1) ケガ等による応急処置の必要や、その他健康上の問題が生じた場合は、医務室に連絡する。
- (2) 主催者は、競技場での疾病・傷病等の応急処置は行うが、以後の責任は負わない。
- (3) 貴重品の管理は各自行うこと。盗難にあっても責任を負いかねるので十分注意すること。
- (4) 届けられた遺失物については大会本部で保管する。
- (5) 参加者全員に記録証を交付する。
- (6) 記録はその都度、プログラム記載の記録サイトに掲載する。

1 4 ウォーミングアップ場の使用について

- (1) ウォーミングアップ場は、「補助陸上競技場」とする。ただし、ジャベリックボール投げについては「第二多目的広場」で行うこと。ウォーミングアップの際は、係員の指示に従うとともに時間を守って各自、事故防止に万全を期す。(別紙監督会議資料参照)
- (2) ウォーミングアップ場内に各自の用具(リズム太鼓、ハードル、スターティングブロック、ラダー、ミニハードル等)を設置しての練習は行わない。
- (3) ウォーミングアップ場のトラックおよびフィールドには、競技者・監督・コーチのみ立ち入りを許可する。保護者の立ち入りは危険防止および密集防止の観点から認めない。

1 5 その他

- プログラム代として各チーム1,500円を負担する。

全国大会について

- 下記の基準で選手団を選考する。全国大会に参加する下記選手団の宿泊費、交通費は、主催者が負担する。
(ただし、「支援コーチ」については一部自己負担となる。)

種 別	種 目	選 手	役員・指導者等
リレー (1種目)	男女混合4×100mリレー	6名	総監督1名 指導者3名 (支援コーチ4名)
単 独 種 目 (16種目)	男子6年 100m	1名	
	女子6年 100m	1名	
	男子5年 100m	1名	
	女子5年 100m	1名	
	男子 コンバインドA	1名	
	女子 コンバインドA	1名	
	男子 コンバインドB	1名	
女子 コンバインドB	1名		
※ 選手団の選考等は福島陸上競技協会常任理事会で行う。		14名	4名(8名)
		18名(22名)	

東日本大会について

- 下記の基準で選手団を派遣する。

種 別	種 目	選 手	役員・指導者等
リレー (1種目)	男女混合4×100mリレー	6名	総監督1名 指導者3名
単 独 種 目 (16種目)	・男子6年 100m	1名	
	・女子6年 100m	1名	
	・男子5年 100m	1名	
	・女子5年 100m	1名	
	・男子80mH	1名	
	・女子80mH	1名	
	・男子6年1500m	1名	
	・女子6年1500m	1名	
	・男子5年1500m	1名	
	・女子5年1500m	1名	
	・男子走高跳	1名	
	・女子走高跳	1名	
	・男子走幅跳	1名	
	・女子走幅跳	1名	
・男子ジャバリックボール投げ	1名		
・女子ジャバリックボール投げ	1名		
※ 選手団の選考等は福島陸上競技協会常任理事会で行う。		22名	4名
		26名	